

食農連携促進事業（拡充）

【800（609）百万円】

対策のポイント

農商工連携の取組を推進するため、地域の幅広い食品産業、農林水産業等の連携を促進し、国産農林水産物を活用した新商品開発や販路拡大等の取組への支援を強化します。

（主な取組状況）

1. 二条大麦を使用し、焙煎技術を用いた「焙煎麦めし」の開発、販売展開（栃木県）
2. 規格外の二十世紀梨を有効活用した「梨ワイン」の開発、販売展開（鳥取県）
3. 茎や葉を食用とするサツマイモの新品種”すいおう”を使用した「洋菓子」の開発、販売展開（鹿児島県）

政策目標

地域の食品産業と農林水産業等の連携により、関連する食品製造企業の製品出荷額が前年度実績を上回ること

<内容>

1. 地域の食品産業と農林水産業等の連携による新商品開発の推進

「農商工等連携促進法」の活用を推進しつつ、地域の食品産業と農林水産業やその他関連産業等を結びつけるコーディネーターの確保、関係者の交流の促進、人材育成、国産農林水産物を活用した新商品開発・販路拡大の取組を支援します。

地域食農連携機能高度化促進費	495（237）百万円
	補助率：2/3・1/2
	事業実施主体：民間団体

2. 地域の食品産業と農林水産業等の連携に対する側面的支援

開発された新商品の販路拡大に資するマーケティング情報を提供します。また、大学、試験研究機関等の食品分野の技術開発の促進や、外食・中食事業者と農業者等との交流会の開催等を行います。

食農連携機能高度化支援費	234（209）百万円
	補助率：定額
	事業実施主体：民間団体等

3. 地域食品ブランドの育成・管理の推進

地域食材を活用した食品の供給及び産地ブランドの確立を推進するため、食品企業等のブランド管理能力の向上等を推進します。

地域食品ブランド育成・管理支援費	71（163）百万円
	補助率：定額
	事業実施主体：民間団体等

<事業実施期間>

平成17年度～25年度

[担当課：総合食料局食品産業企画課（03-3502-5742（直））]

食農連携促進事業

～ 地域の食品産業、農林水産業等の連携を促進し農商工連携を推進 ～

平成21年度概算決定額：800(609)百万円
＜事業実施期間 平成17年度～25年度＞

農商工連携の取組を推進するため、地域の幅広い食品産業、農林水産業等の連携を促進し、国産農林水産物を活用した新商品開発や販路拡大等の取組への支援を強化します。

地域での取組

農商工等連携促進法に基づく取組や、コーディネーターの活用を重点的に支援

①連携の構築等

- ・関係者による連携構築のためのニーズ調査、交流会等の開催
- ・技術力、販売力等の強化のための人材育成の実施 等

②新商品開発

- ・国産農林水産物を活用した新商品開発のための、試作品の開発、デザインの開発、成分分析、市場テスト等の実施 等

【開発商品数】
H17～19年度：146商品

③販路拡大

- ・開発された商品を展示会、見本市等へ出展
- ・販路拡大のための商談会の開催 等

直接的支援

地域の食品産業、農林水産業等で構成する協議会

地域の資源、人材、技術を効果的に結びつけ、多様な産業の育成を進めるための出会いの場。

【全国49ヶ所で設立】



地域の農林水産物を活用した新商品開発例



サツマイモ新品種「すいおう」を活用した洋菓子
(鹿児島県)

二十世紀梨を活用した「梨ワイン」「梨ドリンク」
(鳥取県)

二条大麦を活用した「焙煎麦めし」
(栃木県)

地域の農林水産業・食品産業の活性化
地域ブランドの育成・確立

中央での取組

食農連携機能高度化支援

①食農連携機能高度化推進

- ・コーディネーターバンクの創設、コーディネーターの人材育成研修、食農連携の優良事例調査 等
- ・地域の協議会により開発された商品等の販路拡大のための地域食品フェアの開催、商品改善支援会の開催 等

②食農連携促進技術対策

- ・産業ニーズと技術シーズの連携機会の積極的創出 等

③外食産業・農業等連携ビジネス確立支援

- ・外食・中食事業者と農業者等との交流会の開催 等

地域食品ブランド育成・管理支援

①地域食品ブランド確立支援

- ・地域食品ブランド表示基準「本場の本物」の審査・認定 等

②地域食品ブランド育成・管理対策

- ・地域食品ブランドごとの現状と課題にあわせ、専門家(ブランドアドバイザー)を派遣 等

側面的支援

【参考】食農連携促進事業

